

ねらい	・本格的な夏に向けて体調や安全に留意し、健康に過ごせる様にする。 ・保育士と一緒に遊んだり、見守られたりしながら安心して好きな遊びを見つける。 ・水や泥に触れて、その感触を十分に楽しむ	行事	・七夕の集い（7） ・身体測定（12） ・避難訓練（18） ・誕生会（26）	家庭連絡	・夏の暑さによる体力低下や水に触れる機会などで夏の感染症なども流行しやすい折、家庭との連携をとり体調管理には特に気を付ける。 ・連絡帳の水遊び欄のチェックをしてもらう	自己評価
今月の内容（養護・教育等）		環境構成		配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り
・家庭での様子も考慮し、念入りな視診を心がける。体調の変化を気にかけて、特に急な発熱や夏の感染症には特に配慮する。 ・安全に楽しく夏ならではの遊び（水や泥など）を楽しむ。 ・ゆったりとした雰囲気の中で保育士といっしょに好きな遊びを見つけて過ごす。 ・気持ちが不安定な子や、なかなか遊び出せないでいる子は保育士に受け止めてもらいながら遊びに興味をもっていく。 ・食事の時間を楽しみに待ち、みんなで美味しく食べる。		・保育室内外の気温・湿度・衛生などに配慮しエアコンや換気などを利用する ・室内や特に口に入れやすい玩具の衛生などには配慮し、感染症を広めない様にする。 ・特に朝の健康状態を丁寧にを行い一人ひとりの体調を十分に把握する。 ・水遊びの環境設定や危険箇所など十分に点検見回りをし、安全面の配慮を怠らない。 ・一緒に遊びを楽しみ、保育士とのやり取りや見守りを受けながら安心して遊べるようにする。 ・不安そうな子どもはしっかりと受け止め、興味がありそうな遊びを楽しみながら促していく。 ・砂遊び道具や場所の取り合いも多く見られるため、遊びの場所や道具の個数なども状況を見ながら確保する。 ・楽しい雰囲気の中、口にしたことのない食材や調理法でも保育士に促されたり認められたりしながら挑戦してみる。		・少しでも体調の変化があったときなど検温をまめに行う。 ・一人ひとりの関わりを大切にしながら信頼関係を築いていき、安心して過ごせる様にする。 ・保育士と一緒に遊んで遊びに参加して遊びを提案していく。 ・食べられたことや皆で同じものを食べる楽しみを共有しながら楽しい雰囲気をつくる。 ・詰め込みや喉に詰まらせることのないように気を付ける。 ・アレルギー対応について保育士間で連携を徹底させる。誰が補助に入っても同じ対応ができるようにする。		